令和７年度　授業計画

ビジネス科　３年Ｄ組

教　　科	商　業	科目(単位)	課題研究　企業分析（２単位）
使用教科書	―		
授業形態	通常授業　・　(分割授業)　・　Ｔ　Ｔ		

※分割授業とは、クラスを少人数クラスに分割して授業を行うことを意味します。
※ＴＴ（チームティーティング）とは、複数の教師がチームを組んで指導にあたることを意味します。

１　科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。
(2) ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２　科目の内容と授業の進め方

・企業の財務諸表について、２年次までに学習してきた内容を深く学ぶ。
・企業の過去の財務諸表の分析を行い、実社会の会計について学ぶ。
・財務分析についての学習を深め、研究発表などを行う。

３　学習の方法

・２年次までの学習で身に付けた財務諸表分析の力を実際の企業で行う。
・過去の財務諸表の分析を行い、企業の実態や業績について考える。
・業界ごとに分析を行うことで、それぞれの比率の意味を理解する。
・各財務諸表を理解し、生涯にわたって必要な知識を学ぶ。
・研究テーマを設定し、どう課題を解決するか考える。
・研究テーマに必要な教材となるものを調べる。（ノート、コンピュータ、新聞など）
・グループ活動を行い、協働する。
・毎時の振り返りを行う。
・研究結果をまとめ、各自の研究成果を発表する。

４　課題・補習について

・毎時間の取り組みの計画を立て実行し、振り返る。（日誌提出）
・プレゼンテーションの提出、発表、相互評価を行う。
・卒業レポートの提出を行う。

５　この授業で取得可能な資格（検定試験）

・特にありません。

６　観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
・財務諸表分析を行うことができる。 ・毎回調べたことなどを日誌に記録することができる。 ・金融制度について知識を深めることができる。	・財務諸表分析を行い、企業の将来に必要な手立てを考えることができる。 ・仮想投資を行い、シミュレーション結果に対して深く考えることができる。	・会計コースで学んだことを活かし、研究テーマを設定し意欲的に取り組む態度を身に付けている。 ・金融や経済に対して、理解を深めようとし、グループ内で積極的に発言することができる。 ・研究テーマでまとめたことを積極的に発表することができる。

ビジネス科　３年Ｄ組

教　　科	商　業	科目(単位)	課題研究　企業分析・金融経済講座（２単位）

７　年間の学習計画

月	単　元　名	学　習　の　内　容	評価方法 （課題等）
4 5 6 7 8 9	【個人研究】 ・財務諸表分析を行う。 ・金融制度を研究する。 ・中間報告	・財務諸表分析を行う。 ・どの比率に着目するか考え、課題を見つける。 ・解決方法を探る。 ・企業についての将来性を考察する。 ・企業分析を行い、レポートを作成する。 ・分析指標についてより詳しく学習する。 ・個々で調べたことをプレゼンや資料としてまとめる。 ・学習に必要な物を揃え、学習する。 ・グループで協働して課題解決を探る。 ・これまでのグループの活動をまとめる。	行動観察 日誌 レポート 行動観察 日誌 日誌 行動観察 日誌
10 11 12 1 2	【グループ研究】 ・実際の企業により企業間比較を行う。 ・研究の成果・完成 ・研究成果発表 ・卒業レポート完成 ・課題研究発表会	・研究結果をまとめる。 ・研究発表を行う。 ・発表を終えての反省を行い、来年度への引き継ぎを行う。	行動観察 日誌 行動観察 発表評価 日誌 レポート